

足元の取組例④ (原子力人材の育成・確保)

- 直近、顕著な改善の兆しも見られるが、さらに魅力的な産業としての発信を強化すべく、2024年10月に開催された**原子力産業セミナー**では、**主催の原子力産業協会や文部科学省との連携を推進**。
- 女性参入増加 (ジェンダーバランス改善) も見据えNSCP会員企業による**女性座談会**を実施する等、足元での景況感の改善も踏まえて、**原子力人材の育成・確保に向けた取組を加速していく**。

原子力産業セミナー2026

2024/10/8 電気新聞

- 再稼働の進展やリプレースを見据え、人材を確保しようとする動きが日一般電気事業者、プラントメーカーで活発化している
- 日本原子力産業協会と関西原子力懇談会が5日に大阪市で開いた**就職活動支援セミナーは、過去最多の43社・団体がブースを設けた**
- **セミナーには前年度の約1.5倍となる210人が来場**。2026年春の就職を目指す大学生、大学院生、高等専門学校生らに各社が働く魅力をアピールした

～学生からの関心の高まり～



関電ブースで説明を聞く学生

来場者、前年の1.5倍に

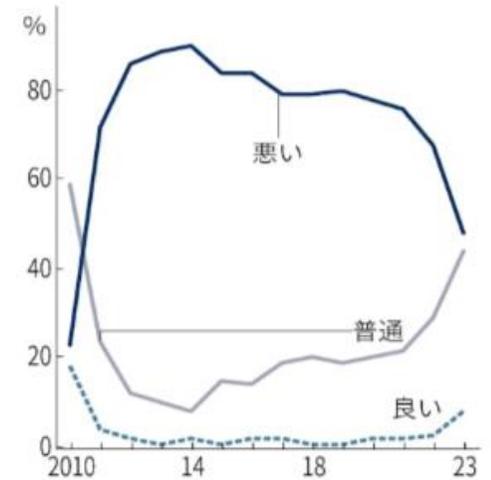
原子力就活で熱視線
原産協会、関原懇がセミナー



2024/9/18 日経電子版

～各社で採用強化の兆し～

- 三菱重工業は2025年3月期に**原子力事業で過去最多となる約200人の採用を計画**する。東芝や富士電機も人員を増やす方針
- 政府が23年、GX基本方針に原子力活用を明記したのが転機となった。原子力事業は成長を牽引する「伸長事業」に位置づけが変わった
- (中略) 日本原子力産業協会が23年に実施した調査では、会員企業など約240社のうち、現在の原子力産業の景況感を「普通」と答えた企業が**44%**と前年から**15pt増加**した
- 「悪い」と答えた企業は**48%**と同**20pt減少**し、**景況感が大幅に改善**している



(出所) 日本原子力産業協会